

# 令和7年度ミズナラ豊凶結果について

## 1 ミズナラの調査目的

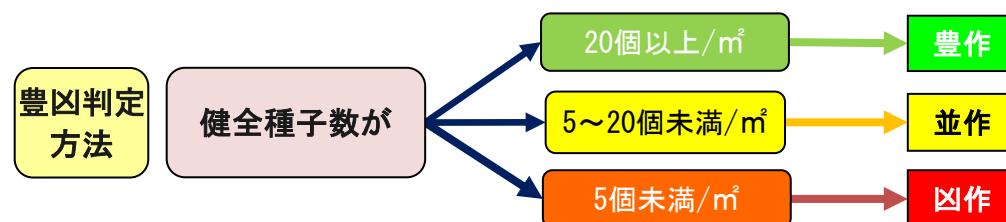
ミズナラの実り具合が、野生動物の生息や森林生態系の変化に影響を与えていると考えられることから、ミズナラの豊凶調査を行っています。

## 2 調査方法及び調査時期

県内9カ所のミズナラ林の調査地にトラップ(面積約1m<sup>2</sup>の円形ネット)を設置し、トラップに落下したミズナラの健全種子の数から豊凶を判定します。  
調査は実が落下する9月～11月頃に行っています。

## 3 ミズナラの豊凶基準及び結果

豊凶基準は、これまでの調査結果とミズナラに関する論文を参考にしています。  
トラップ(5個:a、10個:b)に落下した種子を判別して、健全種子数が20個以上/m<sup>2</sup>を豊作、5～20個未満/m<sup>2</sup>を並作、5個未満/m<sup>2</sup>を凶作としています。



## 【豊凶結果】

	調査箇所	健全種子数 (個/m <sup>2</sup> )	虫害種子数 (個/m <sup>2</sup> )	豊凶判定 結果
1	西小俣(a)	0.0	0.6	凶作
2	日山(a)	0.0	1.2	凶作
3	弓張平(a)	0.0	3.8	凶作
4	金沢(a)	4.4	0.2	凶作
5	鍋越峠(b)	0.0	20.3	凶作
6	黒伏(b)	0.0	0.3	凶作
7	岩根沢(b)	—	—	判定できず※
8	蔵王温泉(a)	11.8	31.4	並作
9	源流の森(a)	1.2	1.8	凶作

※:土砂崩れでトラップを設置できず

## ミズナラ豊凶結果 位置図

